

# 中央病院 news

## 広報誌創刊号の発行によせて

院長 伊津野 脩

昭和53年6月に開院以来、二度の増築工事を  
行い、本年4月に80床の増床・既存棟の改築が  
終了し、256床の病院としてリニューアルオー  
プンいたしました。工事中は患者様をはじめ、近  
隣の皆様に多大な御迷惑をお掛け致したこと、  
ここに深くお詫び申し上げます。併せて、  
様々な形でご支援戴きました皆様に、感謝申  
上げます。

さて、本年4月より、整形外科医師の増員に  
よる、より幅広い診療、放射線科医師の入職に  
よる、より正確な画像診断・血管カテーテル等  
による診断や治療が可能となりました。さらに  
7月からは、耳鼻咽喉科が開設となりました。  
これを機に、当院の広報誌『中央病院 news』  
を発行することとなりました。当院からの  
情報提供だけでなく、皆様のご意見・ご要望に  
お応えするコーナー等も設けたいと考えており  
ます。この場が、皆様と当院職員との交流の場  
となり、より良い地域医療に貢献していくため  
の一因となれば幸いと存じます。

発行責任者 伊津野 脩

発行者 竹内 秀樹

## 子宮筋腫に対する新しい治療法 ~UAE~

子宮筋腫は30歳以上の女性の約20%に  
見られる良性の腫瘍ですが、大きいものや  
小さくても月経過多や貧血などの症状が  
ひどい場合には治療が必要となります。ホ  
ルモン療法などで症状が軽減する場合も  
ありますが、筋腫核手術や子宮全摘術など  
の手術が必要となる場合も少なくありま  
せん。このような時にお腹を切らずに治す  
治療、子宮動脈塞栓術(UAE)が新しい  
治療法として適応となります。方法は簡単  
で、左腕の動脈からカテーテルという細い  
管を挿入して子宮動脈まで進め、そこに塞  
栓物質を流し込んで兵糧攻めにするこ  
とにより、筋腫を小さくします。処置は1時  
間程度で終わり、4~5日の入院ですみま  
す。欧米からの報告では月経過多や月経痛  
の90%以上が改善しており、満足度の高  
い治療法として普及しつつあります。副作  
用としては子宮動脈の阻血による強い下  
腹部痛がありますが、持続硬膜外麻酔など  
を併用しますので、痛みはほとんど感じな  
いと思います。まれに不妊を引き起こす場  
合があるため、将来妊娠を希望する人には  
適しません。子宮腺筋症にも効果が認めら  
れており、子宮筋腫や子宮腺筋症で手術を  
勧められたときにはぜひご相談ください。  
ただし6月30日現在、残念ながら健康  
保険の適用とはなっておりません。

放射線科 中島 哲夫

## 耳鼻咽喉科ついに開設!

長年にわたり、地域の皆様から大変多くのご要望  
をお寄せ頂いておりました。『耳鼻咽喉科』を7月1  
日より開設することになりました。

これまでなかなか機会に恵まれず、皆様には大変  
御迷惑をお掛けしておりましたが、この度ご縁があ  
り、日本大学駿河台病院・日本大学板橋病院・国立  
国際医療センター・自治医大大宮医療センターより  
医師派遣という形で、月々土曜日まで毎日診療させ  
て頂くことが出来るようになりました。

なお、担当医師につきましては、裏面に掲載して  
おりますのでご参照ください。

### 理念

『安全で確実なわかりやすい医療』

### 行動指針

- 1、 私達は、理解と同意のもとに安全で確実な  
医療を提供します。
- 2、 私達は、わかりやすい言葉で説明すること  
を心がけます。
- 3、 私達は、患者さまの訴えや要望に応えるよ  
う心がけます。
- 4、 私達は、笑顔を忘れず、優しい言葉で接し、  
迅速な対応に心がけます。
- 5、 私達は、保健・医療・福祉の連携を密にし、  
予防医学、地域の皆様の健康管理に積極的に  
取り組みます。